

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

日立建機

道路工事の安全性向上に貢献

障害物を検知して衝突被害の軽減を支援する 小型振動ローラ向け衝突被害軽減アシスト装置 10月より日本国内利用者向けにオプション発売

コンバインド振動ローラ タンDEM振動ローラに

日立建機は、国土交通省排出ガス対策型建設機械指定機である小型振動ローラ ZC-5 シリーズのオプションとして、作業中に障害物を検知した際に、車体速度と物体までの距離に応じて、段階的に衝突被害の軽減を支援する「衝突被害軽減アシスト装置」を、日本国内向けに2022年10月より発売する。標準小売価格は145万円(税抜)、販売目標は年間200台を見込んでいる。対象機種は、コンバインド振動ローラ2機種(ZC50C-5、ZC35C-5)、タンDEM振動ローラ2機種(ZC35T-5、ZC50T-5)となる。

小型振動ローラによる 衝突被害の軽減に寄与

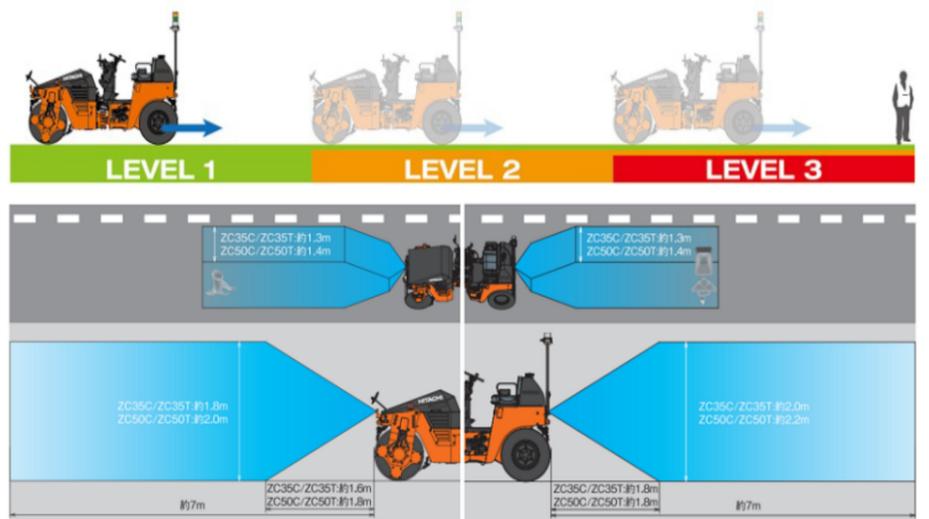
締固め機械は、作業時に車体周辺に

作業者が多く、接触による事故発生リスクが高いことから、安全性の向上が課題となっていた。

同社はこれまで、同装置をタイヤローラ ZC220P-6やマカダムローラ ZC125M-5など、締固め機械の中でも大型クラス向けに展開してきたが、小型クラス向けにも展開してラインアップを拡充することで、道路工事現場のさらなる安全性向上に寄与する。

ミリ波レーダで物体検知 オペレータや作業者に警告

「衝突被害軽減アシスト装置」は、ミリ波レーダで物体を検知し、車体の速度と検知物体までの距離に応じて3段階で警告、制御を行う。運転室内のモニター表示や回転灯・ブザー音で、オペレータや周囲の作業者に警告するほか、車体と物体の距離が近接した場合は、油圧ブレーキを自動制御して車体を減速あるいは停止することで、衝



突被害の軽減を支援する。

車体速度と物体までの 距離に応じて3段階で 警告・制御

同装置は、衝突被害発生のリスク度合いに応じ、LEVEL1~3の各段階で警告、制御する。

LEVEL2で十分に減速した後にLEVEL3のブレーキが作動するため、路面材の押し出しを抑制する。

急な飛び出しなどの場合、LEVEL2の減速を待たず、LEVEL3のブレーキが作動する。

見えにくい車体 後方の物体検知

また、車体後方に取り付けたミリ波レーダにより、車両から7m以内の範囲の物体を検知する。前方にもミリ波レーダを追加オプションで装着することで、前進時の衝突リスクも低減し、さらに安全性が向上する。

回転灯で周囲に 注意喚起を行う

さらに、同装置の作動時には、回転灯で車体周辺の作業者にも注意喚起を促し、衝突リスクの低減に寄与する。

車体周辺の作業者は、回転灯の点灯により、同装置の作動を確認することができる。

(※資料提供：日立建機)

